

第3・4学年「からだで絵日記」 ―表現運動―

東温市立拝志小学校 宇都宮 健太

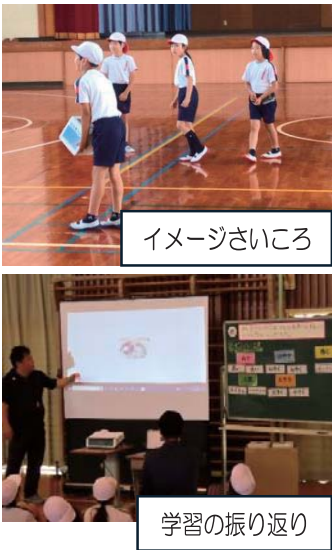
本単元では、「表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができるようになる」ことをねらいとし、表現とリズムダンスを組み合わせる単元を構成しました。単元の導入では、準備運動としてリズムダンスを設定し、子どもの心と体をほぐしていくことに加え、主となる表現につながるような動きを取り入れました。表現では、「からだで絵日記」と題して、身近な生活場面の題材から主な特徴や感じを捉えて表現させました。表現の仕方を体の一部分から体全体へ、ペアからグループへと発展させることで、多様な質感の変化を表現できるようにしました。授業の終末には、振り返りカードに表現の工夫をまとめました。また、単元の終末に、グループごとの発表会を行ったことで、子どもが自分自身の変化に気づき、新たな題材を表現することへの意欲が高まるようにしました。

○ 単元計画

時	第1～4時	第5時
はじめ	○ オリエンテーション ○ リズムダンス（準備運動）	○ リズムダンス（準備運動）
なか	○ 題材の主な特徴や感じをつかみ、課題を確認する。 【題 材】 第1時 風船・新聞紙 第2時 波 第3時 花火 第4時 洗濯 ＊ 速さ、タイミング、高さ、人数、空間などの要素を意識して題材を選ぶ。 ○ 「イメージサイコロ」を使って即興的に踊る。 ○ 他のグループと表現を見合う(事前に人数の変化や動き方などポイントを確認する)。	○ 課題を確認する。 ○ これまでの学習で扱った題材を活用して、グループごとに発表会を行う。 ○ 他のグループの表現を見て、感想を伝え合う。
おわり	○ 振り返りをして、どんな要素を意識して踊ったかなど、全体で共有する。 ○ 振り返りカードを記入する。	○ 単元を通して、自分の動きの変化を振り返る。

○ 運動のポイント

題材に関する生活経験や感じ方は、子どもによって異なります。そこで、題材の特徴や表したい感じを捉えさせるために、題材に関する動画を見せました。さらに、具体的な動き方をイメージできるよう、題材の質感をオノマトペ等で言語化させました。「くしゃくしゃ」「ゆらゆら」といった質感の共有が、グループ内の活発な話合いにつながりました。また、6面に異なる質感を示した「イメージサイコロ」は、楽しみながら即興的に踊ることに効果的な教具でした。単元の終末の活動として、グループの人数を子どもが自由に選択できるようにするという工夫も考えられます。表現の方法や人数、題材等の選択を子どもに任せることで、子どもがより自分事として題材を捉え、表現したい動きを考えることへとつながります。



令和6年10月 第134号  
愛媛県小学校体育連盟  
発行者 山本 智啓  
編集 調査広報部  
〒790-0846  
松山市道後北代10-41  
湯築小学校内(事務局)  
TEL (089) 925-5588  
FAX (089) 925-9927  
https://syoutairen.esnet.ed.jp/

第62回中・四国小学校体育研究大会(愛媛大会) 第3回事前研修会を終えて

研修会運営部長 東温市立川上小学校 中野 豪士

8月2日(金)に松山市の北条地区において、第62回中・四国小学校体育研究大会(愛媛大会)第3回事前研修会を開催し、279名の先生方に参加していただきました。午前の研究発表、午後のパネルディスカッションと実りの多い研修会になりました。

1 研究発表及び協議

今年度は、全16郡市が研究発表をしました。

研究協議では、「する・みる・支える・知る」の視点から運動を多様に楽しむことができる単元構想や協働的な学びを充実するための工夫などについて、活発な意見交換がなされました。研究発表を通して、研究主題「子どもがつなぐ 愛顔あふれる体育学習」の実現に向けた様々な視点や研究の成果を共有することができました。



2 パネルディスカッション

テーマ「学校体育はどうあるべきか」

講師 立命館大学 スポーツ健康科学部 教授 大友 智 先生

■コーディネーター

糸岡 夕里 先生(愛媛大学准教授)

■パネリスト

大友 智 先生(立命館大学教授)

日野 克博 先生(愛媛大学教育学部長・中・四国及び県小体連スーパーバイザー)

山本 智啓(松山市立さくら小学校校長・県小体連会長)

濱田 圭(松山市立たちばな小学校教諭・県小体連研究部長)



第1部では、学校を取り巻く状況と今後の学校体育の在り方について、大友智先生と日野克博先生による対談を行いました。現行の学習指導要領を基に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進について御指導していただきました。

第2部では、愛媛県小学校体育連盟の山本会長と濱田研究部長も加わり、研究主題「子どもがつなぐ 愛顔あふれる体育学習」の実現に向けて意見交換を行いました。



第60回水泳通信記録会を終えて

水泳部長 松前町立伊予小学校 新村 理昂

令和6年度水泳通信記録会には、延べ6,221名の選手が参加しました。そのうち、標準記録通過者数は1,581名で通過率は25.4%となり、標準記録設定の目安としている30%を下回りました。しかし、今年度は、個人1種目・リレー2チームで新記録、個人1種目でタイ記録が樹立されました。これらの結果は、各校で競技力の向上を目指し、熱心に御指導いただいたおかげです。誠にありがとうございました。

新記録					男子			女子			合計			
種目	記録	学校名	氏名	郡市名	参加者数 (人)	通過者数 (人)	通過率 (%)	参加者数 (人)	通過者数 (人)	通過率 (%)	参加者数 (人)	通過者数 (人)	通過率 (%)	
女子50m平泳ぎ	36.9	日高	門田 七海	今治・越智	25m自由形	1,288	314	24.4	1,110	194	17.5	2,398	508	21.2
女子150m メドレーリレー	1:44.0	さくら	加藤 愛理 松岡 怜佳 玉井 咲衣	松山	50m自由形	653	197	30.2	575	164	28.5	1,228	361	29.4
					100m自由形	128	46	35.9	113	47	41.6	241	93	38.6
					50m平泳ぎ	315	70	22.2	329	65	19.8	644	135	21.0
女子150m メドレーリレー	1:47.6	日高	越智 美来 門田 七海 安井 里花	今治・越智	100m平泳ぎ	119	37	31.1	113	29	25.7	232	66	28.4
					50m背泳ぎ	147	49	33.3	171	61	35.7	318	110	34.6
					25mバタフライ	119	42	35.3	110	24	21.8	229	66	28.8
タイ記録					50mバタフライ	69	36	52.2	57	20	35.1	126	56	44.4
種目	記録	学校名	氏名	郡市名	75m個人メドレー	91	22	24.2	92	32	34.8	183	54	29.5
					200mリレー	195	34	17.4	168	26	15.5	363	60	16.5
					150mメドレーリレー	125	34	27.2	134	38	28.4	259	72	27.8
					合計	3,249	881	27.1	2,972	700	23.6	6,221	1,581	25.4